



ニュースリリース

三井不動産ロジスティクスパーク茨木（MFLP 茨木）新築工事の着工について

新日鉄住金エンジニアリング株式会社（代表取締役社長：藤原 真一、本社：東京都品川区、以下「当社」）は、このたび、大阪府茨木市において三井不動産株式会社（代表取締役社長：菰田 正信、本社：東京都中央区）より受注した大型物流施設「三井不動産ロジスティクスパーク茨木（MFLP 茨木）」（以下「本施設」）の建設工事に着手いたしました。

本施設は、鉄骨造地上6階建ての免震構造、延床面積は約241,900㎡で当社の施工案件では過去最大規模の案件、各階にトラックバースと両側にランプウェイを配したマルチテナント型となっており、当社が設計・施工で受注し、工期16ヶ月で竣工は2017年9月を予定しております。建設場所は、名神高速道路「茨木IC」から至近の距離にあり、関西圏全域や日本全国への配送拠点として高いポテンシャルを有しています。

本施設は、当社独自の構造設計ノウハウである「グリッド設計」（柱スパンの最適化設計）による躯体コスト削減や1階床の鉄骨構造化による省力施工で工期短縮を図っています。また、当社が新たに開発した最新鋭の免震装置球面すべり支承「NS-SSB®」を採用し、積載荷重の変動に左右されず安定した免震性能を発揮し、荷主様の商品を安全に保管します。

新日鉄住金グループの一員として鋼構造分野に大きな強みを持つ当社は、大型物流施設を得意領域の一つとして実績を積み重ねており、当該分野での受注実績は直近10年で約210万㎡に上ります。引続き、鋼構造エンジニアリング力と鉄の知見を活かした商品・技術の提供を通じ、安心・安全な社会の実現に貢献してまいります。



【鍬入れ：三井不動産(株)／飯沼副社長】



【鍬入れ：当社／藤原社長】



【完成予想図】

【お問い合わせ先】

CSR・広報部 広報室 03-6665-2366

URL <https://www.eng.nssmc.com/ask/>

以上